

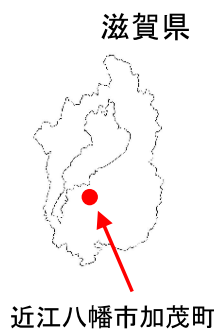
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 稲作を中心とした土地利用型農業
- 耕地面積の90%以上が水田である。また、本市は琵琶湖に面しており、環境に配慮したこだわり農産物の生産にあわせて地球温暖化防止や生物多様性に効果の高い営農活動に取り組んでいる。

【支援内容・背景】

- 高齢化、後継者不足により耕作をしていない農地について、担い手の経営発展を推進するため集積・集約を支援する必要。
- 助成対象者は地区内で大規模水田作経営を営む者であり、近年、経営面積を急速に拡大し、今後も面積拡大を志向しており、併せて経営の合理化や雇用拡大も急速に実践。このため、地区における大規模経営の経営力強化の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「株式会社ナカガワファーム」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 令和2年 法人化
農業経営改善計画認定

《事業活用の背景》

○ 経営面積を拡大し、付加価値額の増加等、経営規模の拡大を図るため、効率的な生産に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
(R2年度)

- 売上高 46百万円
- 水稲作 20.3ha
- 小麦 13.2ha
- 大豆 13.8ha(単作含む)

《事業による整備内容》

- 田植え機 1台
事業費 4,356千円
(国費 1,980千円)
- トラクター 1台
事業費 6,941千円
(国費 3,155千円)
- ハイクリブーム 1台
事業費 4,895千円
(国費 2,225千円)



【現在の経営状況】
(R6年度)

- 売上高 76百万円(165%)
- 水稲作 21.7ha(107%)
- 小麦 26.1ha(198%)
- 大豆 28.2ha(単作含む)
(204%)

事業の
効果

《対象者》 農作業の効率化により、経営面積及び売上高の拡大、農業経営の複合化が実現。
《地区》 担い手への農地集積が図られることにより、水稲・小麦・大豆栽培を主とした経営の複合化が可能な大規模水田作経営モデルが確立。